

# ORION

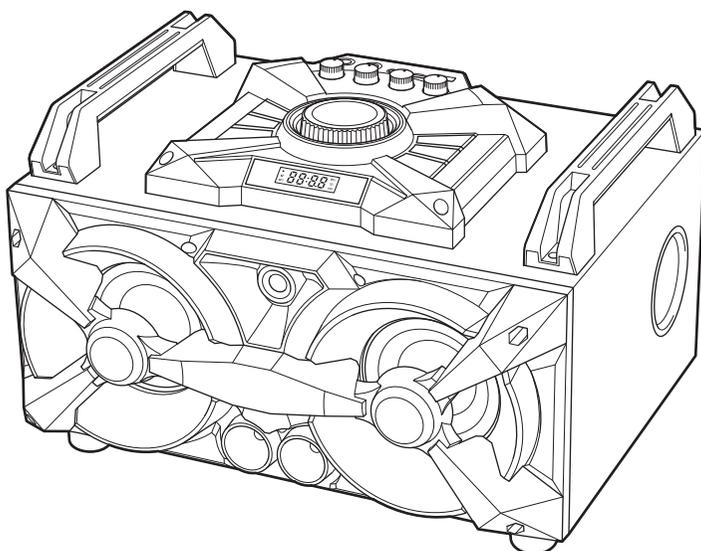
## Bluetooth<sup>®</sup>機能搭載パーティースピーカー SKS-30BT

### 取扱説明書・保証書

このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。正しくご使用いただくために必ずこの取扱説明書をよくお読みください。なお、お読みになられたあともいつでも見られるように大切に保管してください。

#### も く じ

安全上のご注意	P. 2
ご使用になる前に	P. 4
各部の名称とはたらき	P. 6
使用前の準備	P. 8
正しい使いかた	P. 10
通常の操作	P. 10
Bluetooth <sup>®</sup> 機器を聴く	P. 11
USBメモリー・microSDカードのMP3を聴く	P. 13
FMラジオを聴く	P. 14
外部入力を聴く	P. 15
マイクミキシング機能を使う	P. 16
お手入れのしかた	P. 16
修理・サービスを依頼する前に	P. 17
主な仕様	P. 19
アフターサービスについて	裏表紙
保証書	裏表紙



# 安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保管してください。

 <b>警告</b>	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 <b>注意</b>	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容を示します。 (物的損害とは、家屋・家財・家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を示します。)

## 図記号の意味と例

	⊘は、「してはいけないこと」を意味しています。具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「分解禁止」を示します。)
	●は「必ずすること」を意味しています。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を示します。)

# 警告

 禁止	交流 100V 以外では使用しない。 電圧の違うところ、自動車・船舶などの直流電源には接続しないでください。火災・感電の原因になります。	 禁止	本体に強い衝撃を与えたり、落下させたりしない。 衝撃を与えてしまったときは、すぐに AC アダプターをコンセントから抜き、点検修理を依頼してください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因になります。	 指示	AC アダプターはコンセントの奥までしっかり差し込む。 感電・ショート・発火の原因になります。
	海外で使用しない。 本機は日本国内専用です。		雷が鳴り始めたら、AC アダプター、電源コードに触れない。 感電の危険があります。		AC アダプターの刃および刃の取り付け面にホコリが付着している場合は拭き取る。 ホコリが付着したまま AC アダプターを差し込むと、ショート・火災の原因になります。
	電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものをのせたり、挟み込んだりしない。 火災・感電の原因になります。		ろうそくなど、炎の出るものを近くに置かない。 炎が近づくと、火災の原因になります。		電池からもれた液が目に入ったときは、こすらずに水で洗い流し、医師の診察を受ける。 失明や目に障害を負う恐れがあります。
	電源コードや AC アダプターが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。 感電・ショート・発火の原因になります。		温度の高いところ、水蒸気の多いところ、湿度が高いところ、直射日光が当たるところ、屋外、振動の多いところに設置しない。 火災・感電・故障の原因となります。		電池ケースがしっかりしまらない場合、製品の使用を中止して子供の手の届かないところに保管する。
	電源コードを、乳幼児の手の届くところに置かない。 コードが誤って首に巻きついたりして事故の原因になります。		本機に対してスプレー式のエアダスターを使用しない。 本機の内部にガスがたまると、引火して爆発する原因になります。		
	子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使わない。 けが・感電の原因になります。				
	本体のすき間にピンや針金などの金属物など、異物を入れない。 感電・けがの原因になります。		 使用禁止		異常時(こげ臭い、発煙など)は AC アダプターを抜き、使用を中止する。 火災・感電の原因になります。AC アダプターをすぐに抜くことができるように、容易に手が届く位置のコンセントを使用して設置してください。

## 警告

 プラグを抜く	使用しないときは、必ずACアダプターをコンセントから抜く。 絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。	 分解禁止	分解しない。また、修理技術者以外の人は修理しない。 火災・感電・けがの原因になります。修理は販売店またはドウシヤカスタマーセンター（裏表紙参照）にご相談ください。	 水ぬれ禁止	水につけたり、水をかけたりしてぬらさない。 本機の上に水の入った容器や植木鉢などを置かないでください。ショート・感電の原因になります。
	お手入れのときは、安全のためACアダプターをコンセントから抜く。 感電・火災・けがの原因になることがあります。	 ぬれ手禁止	ぬれた手で、ACアダプター、DCプラグを抜き差ししない。 感電の原因になります。		

## 注意

 禁止	次のようなところでは使わない。 ●ガスコンロなど炎の近く ●引火性のガスがあるところ ●雨や水しぶきがかかる場所 ●ホコリの多いところ 変色・変形・火災・感電の原因になることがあります。	 禁止	リモコンの電池は直射日光が当たる場所など高温になる場所に置かない。 液もれや破裂・火災などの原因となります。	 指示	音量に注意する。 使用前には音量を最小にするようにし、使用中も音量を大きくしすぎないように注意してください。長時間、耳を刺激する大きな音量で聴き続けると、聴力に悪い影響を与えます。
	熱のこもりやすい狭い場所、自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない。 キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災や感電の原因になります。		ACアダプターを抜くときは電源コードを持たずに必ずACアダプターを持って抜く。 感電・ショート・電源コードの断線の原因になることがあります。		接続に注意する。 本機の入力端子へ接続した機器の過大信号によっては、本機を傷めたりすることがあります。正しい接続をしてください。
	不安定な場所・傾斜のある場所で使わない。 転倒したり落下して、けが・故障の原因になることがあります。	 指示	電池の極性に注意する 電池を取り付けるとき、電池の+（プラス）と-（マイナス）に注意し、正しく入れてください。電池の破裂や液もれにより、火災・けが・故障の原因になることがあります。	本機を設置するときは、放熱を妨げない程度の間隔をあげる。 内部に熱がこもり、火災の原因になります。	
	お手入れのときは住宅用洗剤・シンナー・ベンジン・アルコール・磨き粉などを使わない。 変色・変形・感電・故障の原因になります。		長時間使用しないときはリモコンの電池を抜く。 長時間入れたままにしておくと、液漏れによって内部を汚したり、破裂による火災やけがの原因になります。		
指定以外の電池を使用しない。 電池の破裂や液もれにより、火災・けが・故障の原因になることがあります。		リモコンを廃棄するときは、電池を抜く。 そのまま廃棄すると、思わぬ事故の原因となります。電池は各地方自治体の指示に従って処分してください。			

# ご使用になる前に

## USBメモリー・micro SDカード・MP3再生について

- USBメモリー** ・ ファイルシステム FAT32
- ・ USB2.0対応
  - ・ ～32GBまで対応
- 本機は、USBマストレージクラスデバイスにのみ対応しています。お使いのUSB機器がUSBマストレージクラスであるかは、直接USB機器の発売元にお問い合わせください。
- ※本説明書では接続できるUSB機器を「USBメモリー」と記載しています。
- ・ USBハブを介してUSB機器を使うことはできません。
  - ・ 本機はUSBメモリーに記録されたMP3ファイルを再生することができます。
  - ・ 本機では、USBメモリー内のファイルを移動させることはできません。
  - ・ USBメモリーの状態によっては正常に動作しないことがあります。

- micro SDカード** ・ ファイルシステム FAT32
- ・ 本機で使用できるSDカードは、microSDカードタイプ、SDHCタイプ 32GB以下です。(標準)SDカード・ミニSDカードを使用することはできません。
  - ・ 本機ではmicroSDカード内のファイルを移動させることはできません。
  - ・ microSDカードには、誤消去防止スイッチがありませんので、ご注意ください。
- ※本書(取扱説明書)などで本機で使用する「microSDカード」のことを「SDカード」と記述することがあります。

- MP3**
- ・ 正式名称をMPEG-1 Audio Layer-3という音声圧縮の規格。
  - ・ MP3データの認識はファイル拡張子「.mp3」で行ないます。ファイル名には必ず拡張子「.mp3」を付けてください。拡張子「.mp3」のないファイルは本機では再生できません。また、ファイル名に拡張子「.mp3」を付けていてもMP3データ形式でないファイルは再生できません。

- MP3再生可能ファイル共通事項**
- ・ ビットレート 96～320kbps (推奨)
  - ・ サンプリング周波数32kHz/44.1kHz/48kHz
  - ・ 999以上のファイルまたは999以上のフォルダーが記録されたUSBメモリーまたはmicroSDカードは、正常に再生できないことがあります。
  - ・ 可変ビットレートで記録されたファイルは、正常に再生できないことがあります。
  - ・ データの状態によっては、本機では再生できなかったり、音が途切れることがあります。
  - ・ DRM(著作権保護されたファイル)には対応していません。

- MP3ファイルの再生順番について**
- ・ 本機はフォルダー変更の機能は搭載していません。USBメモリーまたはSDカードに記録された順番に再生を行ないます。

## Bluetooth について

### Bluetooth (ブルートゥース)

本機はBluetoothの無線技術・ワイヤレスシステムを搭載しています。対応するプレーヤー、携帯電話などの音楽をワイヤレスで聴くことができます。

### 電波に関する注意事項

本機の使用周波数帯では、産業・科学・医療用機器などのほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)などが運用されています。

- ・ 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
- ・ 万が一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに電波の発射を停止してください。

### 通信について

- ・ Bluetooth対応のマウスなどのパソコン関連機器と、ヘッドホンなど音楽機器を同時に使用すると、音が途切れたりすることがあります。
- ・ 本機などのBluetooth機器は無線LAN機器(IEEE802.11b/g/n)と同じ周波数帯(2.4GHz)を使用するため、近くで使用すると電波障害を互いに発生させて、通信速度低下や接続不能になることがあります。このような場合は、Wi-fiの使用周波数を変更するか、できるだけ離して(10m程度)使用します。
- ・ 本機はすべてのBluetooth機器と接続を保証するものではありません。また接続するまで時間がかかるものがあります。
- ・ Bluetooth機器どうしの接続で、対応する規格、周波数帯域、プロファイルの種類などによって接続できないことがあります。

### 安全にご使用いただくために

Bluetooth機器が発生する電波は、電子医療機器などに影響を与えることがあります。場合によっては事故をひきおこすことがありますので、以下のようなところでは持ち込まない、または電源を入れないようにしてください。

- ・ 病院など医療機関、電車・航空機
- ・ 自動ドアや火災報知機の周辺
- ・ 心臓ペースメーカー、医療用電子機器の近く

### Bluetooth機能を搭載したセットを改造して使用したときは電波法に抵触します

本機は電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受け、その証として「技適マーク」が本機の背面に表示されています。改造すると、技術基準適合証明が無効となります。無効状態で使用すると、電波法に抵触しますので絶対に改造しないようにお願いします。

### Bluetooth機能は日本国内で使用してください

本機のBluetooth機能は、日本国内での無線規格に準拠し認証を取得しています。海外でご使用になると罰せられることがあります。

Bluetooth および Bluetooth ロゴは米国 Bluetooth SIG, Inc. の登録商標です。そのほか商品名/社名などは、一般に各社の商標ならびに登録商標です。

Bluetooth部 仕様	
適合規格	Bluetooth Ver.5.0
通信出力	Class2
使用周波数帯域	2.4GHz 帯 (2.402～2.480GHz)
変調方式	G FSK.
プロファイル	A2DP, AVRCP
対応コーデック	SBC
通信距離*	(見通し) 約 10 m *
同時接続台数	1 台
記憶可能ペアリング台数	1 台

\* 通信距離は目安です。周囲の環境により距離が変わることがあります。

お使いのBluetooth機器によっては接続できないことがあります。詳しくはお使いのBluetooth機器の説明書をご確認ください。

## 乾電池について

- 乾電池を扱うときには
- ・ 指定以外の乾電池は使用しない。
  - ・ 新しい乾電池と古い乾電池、種類の違う乾電池を混ぜて使用しない。
  - ・ 極性表示を間違えないで挿入する。
  - ・ 水や火の中に入れたり、充電・加熱・分解・ショートしない。
  - ・ 液もれがおきたら使用しない。
- 乾電池はもちろん、本体も液がついた状態で使用すると危険なため、直接触れずに拭き取るようにし、販売店にご相談ください。
- 万が一、液が体に付いてしまった場合は、水で十分に洗い流すようにしてください。
- ・ 長時間使用しないときは乾電池を取りはずす。
  - ・ 使いきった乾電池や、使用推奨期限の過ぎた乾電池もはずしておく。

## 使用環境について

- 結露について
- ・ 寒いところから急に暖かい場所へ移動させると、内部に水滴が付いたりする結露現象が起こります。
- この状態で使用すると、正しい動作をしないことがあります。このようなときは、電源を入れて1時間程度放置してください。内部の熱で結露が取り除かれ、正常に動作するようになります。

## FM補完放送について

- FM補完放送(ワイドFM)
- ・ AM放送の放送区域において難聴・災害対策のため、FM放送の周波数(従来の76~90MHz、新たに設定された90.1~95MHz)を用いて、AM放送の補完的な放送をしています。
- 本機はFM補完放送に対応しています。
- ※FM補完放送を実施している放送局、周波数、聴取エリアなどは地域によって異なります。詳しくは各地域の放送局ホームページなどを確認してください。

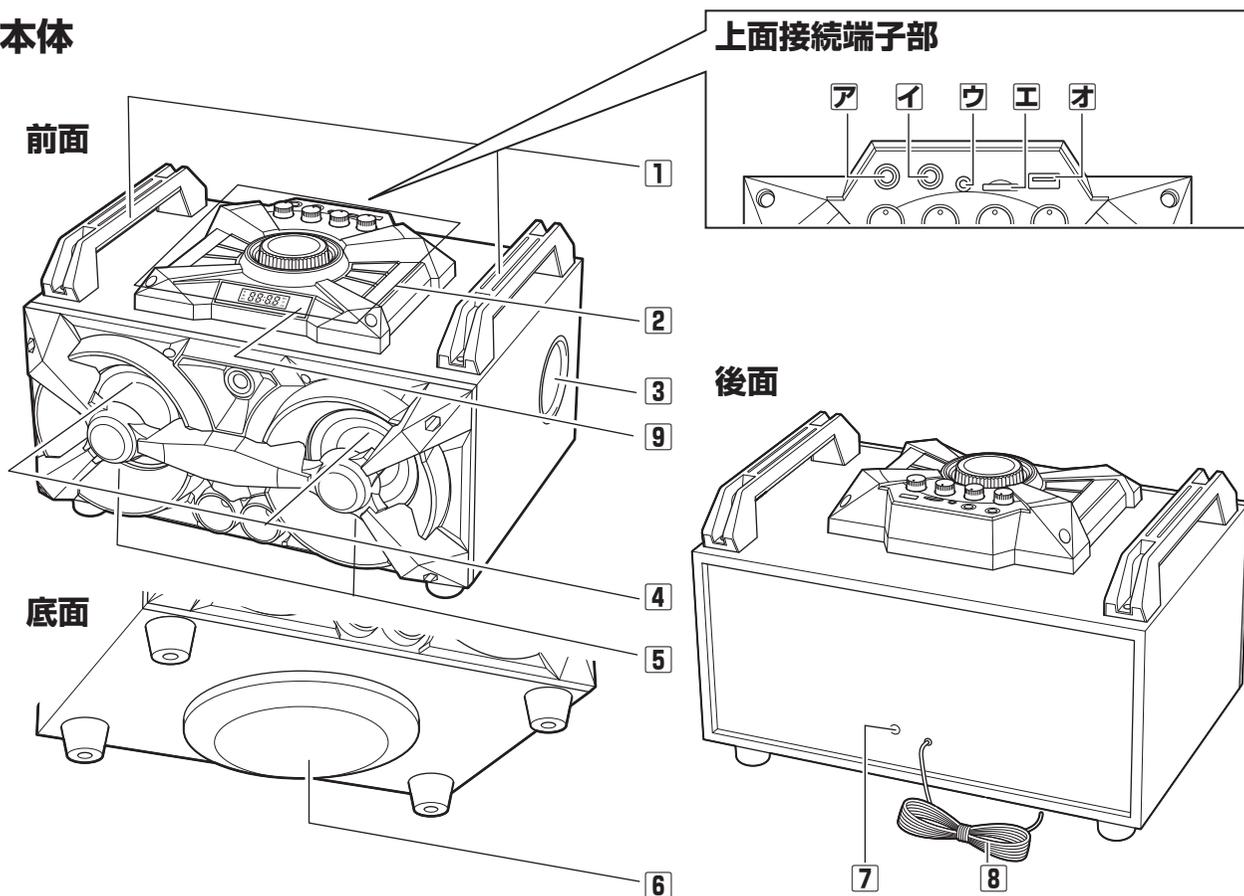
## 免責事項について

お客様、または第三者が、この製品の誤った取扱・故障・その他の不都合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

製品の故障・誤動作または不都合によるメモリーなどへの記録された内容の損害及びお客様または第三者が製品利用の機会をのがしたために発生した損害など、付随的損害の補償については、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

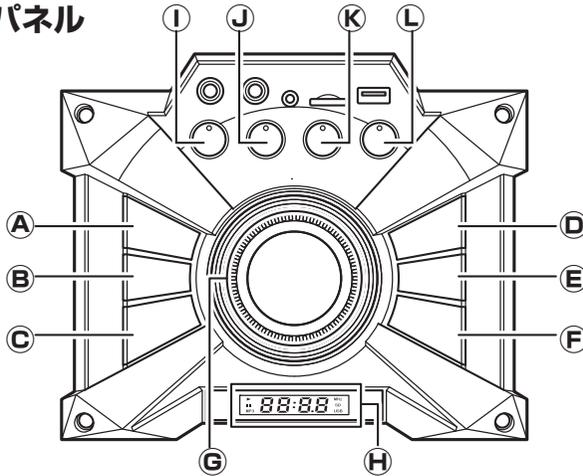
# 各部の名称とはたらき

## 本体

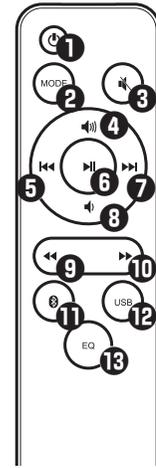


名称	機能
<b>本体</b>	
① キャリングハンドル	持ち運びに使用します。
② 操作パネル・上面接続端子部	本機を操作するボタンや情報を表示するディスプレイ部、外部機器やmicroSDカードなどを接続する接続部があります。
③ バスレフポート	低音を増強します。
④ サテライトスピーカー	中高音を再生します。
⑤ LED	音の強弱に合わせて色や光の量が変化します。
⑥ ウーファースピーカー	低音を再生します。サラネットは取りはずすことができません。
⑦ DCジャック 電源入力端子	付属のACアダプターのDCプラグを差し込みます。
⑧ FMアンテナ	受信しやすい方向に向けます。
⑨ リモコン受光部	リモコンからの信号を受信します。
<b>上面接続端子部</b>	
ア マイク1端子	マイクを接続します。標準プラグ対応。
イ マイク2端子	マイクを接続します。標準プラグ対応。
ウ 外部入力端子(LINE端子)	φ3.5の3極ステレオミニプラグに対応しています。
エ microSDカードスロット	microSDカードを差し込みます。
オ USB端子	USBメモリーを取り付けます。外部機器への充電ができます。(出力 DC5V/0.5A)

## 本体操作パネル



## リモコン



	名称	機能
<b>本体操作パネル</b>		
Ⓐ	STANDBY 電源ボタン	本体電源の入/切(スタンバイ)をします。
Ⓑ	⏮ ⏭ スキップ+/-ボタン	FMラジオモード時 短押し:プリセットされた局を呼び出します 長押し:自動選局
Ⓒ	⏮ ⏭ スキップ+/-ボタン	USB/SDモード時 短押し:前、次の曲 長押し:早送り、早戻し BTモード時 前、次の曲に変わります
Ⓓ	MODE 入力切替ボタン	入力モードを切り替えます。 BT→LINE→FM(→USB→SD)→BT (USBモードはUSBメモリー、SDモードはmicroSDカードを取り付けたときのみ切り替えられます)
Ⓔ	⏪ 再生/一時停止ボタン	ファイルを再生または一時停止します。FMラジオモード時、長押しで自動プリセット選局します。
Ⓕ	* LEDボタン	前面のLEDの入/切、色の変更をします。
Ⓖ	VOLUME 音量つまみ	音量を調節します。
Ⓗ	ディスプレイ部	曲の番号、モードなどを表示します。
Ⓘ	MIC VOL マイク音量つまみ	マイクの音量を調節します。
Ⓙ	ECHO エコー量つまみ	マイクのエコーの強弱を調節します。
Ⓚ	BASS 低音つまみ	低音域のレベルを調節します。
Ⓛ	TREBLE 高音つまみ	高音域のレベルを調節します
<b>リモコン</b>		
①	⏻ 電源ボタン	電源を入/切(スタンバイ)します。
②	MODE 入力切替ボタン	入力モードを切り替えます。
③	🔇 消音ボタン	音量を一時的に0(無音状態)にします。もう一度押しすと、元の音量に戻ります。
④	🔊 音量ボタン	音量を調節します。
⑤	⏮ ⏭ スキップ+/-ボタン	FMラジオモード時 短押し:プリセットされた局を呼び出します 長押し:自動選局
⑥	⏪ 再生/一時停止ボタン	USB/SDモード時 短押し:前、次の曲 BTモード時 前、次の曲に変わります
⑦	⏪ 再生/一時停止ボタン	ファイルを再生または一時停止します。FMラジオモード時、長押しで自動プリセット選局します。
⑨	⏮ ⏭ 早送り/早戻しボタン	再生中のソースを早送り・早戻しします。 FMラジオ時 手動選局に使用します。
⑪	📶 Bluetoothボタン	Bluetoothに切り替えます。
⑫	USB ボタン	USBメモリーに切り替えます。
⑬	EQ 音質ボタン	音質を切り替えます。NORMAL→ROCK→POP→CLASSIC→JAZZ→NORMAL ※音質の切り替えはUSBメモリー/microSDカードのMP3再生時とBluetooth接続時のみ使用できます。

# 使用前の準備

## 梱包部品一覧

お買い上げ後、同梱の部品を確認してください。

本体.....	1 台	AC アダプター.....	1 個
リモコン.....	1 個	取扱説明書（保証書含む）.....	1 冊
リモコン用単 4 形乾電池.....	2 本		

## リモコンの準備

リモコンに単 4 形乾電池を入れてください。

1. 電池ケースふたの上部を押して、電池ケースふたを取りはずす①

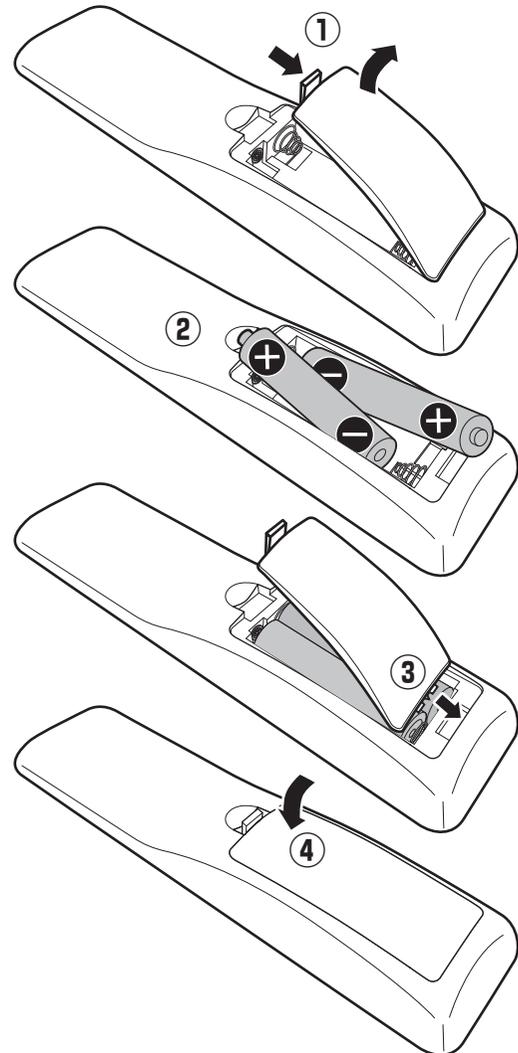
2. 電池の向き (+-) に注意して電池を電池ケースに入れる②

バネのある側を電池の ⊖ 側にして、取り付けてください。

- 付属の電池は動作確認用です。早めに新しい電池と交換してください。
- 電池交換するときは取りはずした電池の扱いには十分気をつけてください。

3. 電池ケースふたの下のツメをリモコンの穴に入れ③、電池ケースふたを閉じる④

- 電池ケースふたのツメをリモコンの穴に入れて、電池ケースふたをリモコンに取り付けてください。



### ⚠注意

- 長時間リモコンを使用しないときは、電池を取りはずす。
- 電池の破裂や液もれを防ぐため、+- を正しく入れる。
- 電池の充電・ショート・分解・火への投入・加熱などはしない。
- 万一、液もれが起こったときは、よく拭き取ってから新しい電池を入れる。

### リモコン使用可能範囲

リモコンの操作は、リモコン受光部の正面から約 6 メートル、左右 30 度、上 20 度下 5 度の範囲でお使いください。

※ 次のようなとき、正しくリモコンが動作しないことがあります。

- リモコンと本機の間には障害物があるとき
- 直射日光や蛍光灯の強い光が受光部に当たっているとき
- 赤外線を出す機器の近くで使用したとき

## FMアンテナの準備

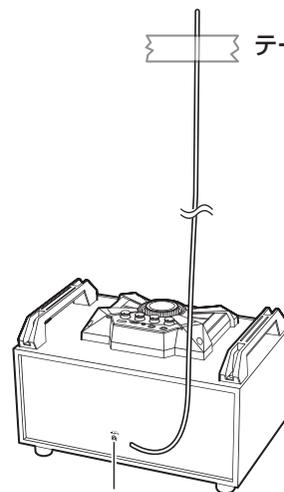
本機はFMラジオ放送を聴くことができます。

受信状態が一番良い位置を探して、壁や柱にテープなどで貼り付ける



FM アンテナは、子供の手の届く範囲に貼り付けない。  
アンテナ線がからみついたりして、事故の原因になります。

テープなどで固定



電源入力端子

## 電源の接続

本体の電源の接続には付属の AC アダプターを使用します。

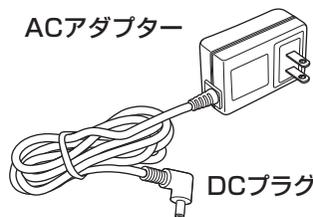
1. 本体後面の電源入力端子に付属の AC アダプターの DC プラグを取り付ける
2. AC アダプターをコンセントに差し込む

通電すると、本体のディスプレイ部に「---:---」が点滅表示されます。



- 長期間使用しないときは AC アダプターをコンセントから抜く。  
火災、事故などの原因になります。
- ぬれた手で AC アダプターを扱わない。  
感電、火災、故障の原因になります。
- 必ず本体後面の DC プラグを接続した後に AC アダプターの電源プラグをコンセントに差し込む。  
逆の手順にした場合、後面電源端子でスパークが発生することがあります。

ACアダプター



DCプラグ

# 正しい使いかた

## 通常の操作

1. 本体またはリモコンの $\text{Ⓞ}$ 電源ボタンを押して電源を入れる
2. 本体の音量つまみまたはリモコンの $\text{Ⓢ}$ 音量ボタンで音量を調節する  
入力モードによって自動的に再生が開始されるため、音量を調節します。
3. 消音するときにはリモコンの $\text{Ⓜ}$ 消音ボタンを押す  
リモコンの $\text{Ⓜ}$ 消音ボタンを押すと音量 0 になります。もう一度押すと元の音量に戻ります。
  - 消音中はディスプレイ部に「V 00」が表示されます。
  - 消音中に本体の音量つまみを回す、またはリモコンの $\text{Ⓢ}$ 音量ボタンを押すと、消音は解除されます。
4. 本体またはリモコンの $\text{MODE}$ 入力切替ボタン、またはリモコンの各入力ボタン（ $\text{BT}$ 、 $\text{USB}$ ）を押して使いたいモードに切り替える
  - $\text{MODE}$ 入力切替ボタンを押すと、  

BT → LINE → FM → (USB → SD →) BT ...
--------------------------------------

  
とモードが切り替わります。
  - FMモード時は、受信周波数が表示されます。
  - 接続している機器によって、モードの切り替えに、(音を出すまでに)時間がかかることがあります(USBモードなど)。
  - 「USB」「SD」は、それぞれ接続されていないときは、表示されません。
5. リモコンの $\text{EQ}$ 音質ボタンを押して好みの音質にする  
**イコライザー機能**  
本機には、お好みの音質でお楽しみいただける、5パターンの音質（イコライザー機能）が設定できます。  
リモコンの $\text{EQ}$ 音質ボタンを押すたび、  

NORMAL → ROCK → POP → CLASSIC → JAZZ → NORMAL ...
---

  
と音質が切り替わります。  
※ 外部入力端子(LINE端子)で接続された音源とFMラジオには、イコライザー機能を使用することができません。  
**高音・低音を調節する**  
本体操作パネルのBASS(低音)・TREBLE(高音)のつまみでお好みの音質に調節できます。 10
6. 聴き終わったら、本体の音量つまみまたはリモコンの $\text{Ⓢ}$ 音量ボタンで音量を0(無音状態)にして、本体の電源ボタンかリモコンの $\text{Ⓞ}$ 電源ボタンを押して、切(スタンバイ状態)にする
  - 切(スタンバイ状態)ではBluetoothの接続は切断されます。
7. 長期間使用しないときは本体のACアダプターをコンセントから抜く  
ACアダプターをコンセントに接続したままにすると、実際使用しなくても、少なからず電力は消費されます。
  - microSDカード、USBメモリーなど装着したままにしないでください。
  - 長時間使用しないときは、リモコンの電池も抜いておいてください。



警告

使用後は必ず電源を切り、ACアダプターをコンセントから抜く。  
火災・故障の原因になります。

# Bluetooth® 機器を聴く

## Bluetooth 機器の設定

- Bluetooth デバイスの接続設定をすることを「ペアリング」といいます。
- ペアリングするときは、両方の機器を 1m 以内に置いてペアリング設定をしてください。
- 本機は一度に 1 台の Bluetooth 機器しか接続できません。

本機は以下の手順で Bluetooth 機器と接続（ペアリング接続）することができます。

### Bluetooth機器との初めての接続

#### 1. ペアリングしたいBluetooth機器の電源を入れる

Bluetooth接続モードにしておきます。

#### 2. 本体またはリモコンの 入力切替ボタンまたはリモコンの Bluetooth ボタンでBTモードに切り替える

ディスプレイ部に「BT」が点滅表示されます。

#### 3. 接続するBluetooth機器のサーチ機能を操作して、本機の製品名「SKS-30BT」を検索する

検索が完了すると、接続する外部機器のディスプレイ部に「SKS-30BT」が表示されますので、それを選択し「ペアリング」を開始します。

※ ペアリング接続・設定方法は、お使いの Bluetooth 機器の取扱説明書をご覧ください。

※ PINコードが要求された場合は、4桁の数字「0000」を入力してください。

#### 4. 接続が成功すると信号音が鳴り、ディスプレイ部に「BT」が点灯表示される

#### 5. 接続がうまくいかないときは、本体またはリモコンの 入力切替ボタンで再度「BT」モードを選択するか、リモコンの 再生／一時停止ボタンを長押しする

もう一度最初から接続しなおしてください。

### Bluetooth機器との2回目以降の接続

ペアリングをしたBluetooth機器は、自動的に接続されます。再接続されないときは、「Bluetooth機器との初めての接続」の手順に従って再度接続してください。

※ 接続するBluetooth機器によっては、自動的に接続されないことがあります。本機の故障ではありません。

### 別のBluetooth機器との接続

別の接続機器を本機に接続したいときは、現在接続されている機器の接続を切断してください。本機は一度に1台の端末しか接続できません。

#### 1. 接続していた外部機器のBluetooth機能を解除する

- 外部機器に表示されている、本機の製品名「SKS-30BT」の登録を解除します。

#### 2. 別の外部機器と「Bluetooth機器との初めての接続」を行なう

#### 3. 接続できないときは、リモコンの 再生／一時停止ボタンを長押しして、再度「Bluetooth機器との初めての接続」を行なう

※ Bluetooth機能の接続、切断操作につきましては、お手持ちの外部機器の取扱説明書もあわせてご確認ください。



本機はSCMS-Tに対応していません。接続するBluetooth対応機器がSCMS-T対応のときは、ご使用になれないことがあります。詳しくはBluetooth対応機器の取扱説明書をご確認ください。

# 正しい使いかた（つづき）

## Bluetooth® 機器を聴く（つづき）

### Bluetooth機器の音楽を聴く

Bluetooth機器の音楽をワイヤレスで楽しむことができます。

1. 「Bluetooth機器との初めての接続」の設定・ペアリングを行なっておく
2. 本機とBluetooth機器が接続していることを確かめる

未接続のときは「BT」が点滅表示されます。

※ Bluetooth機能の接続、切断操作につきましては、お手持ちの外部機器の取扱説明書もあわせてご確認ください。

3. 本機に接続したBluetooth機器で再生を始める

本機のリモコン操作部でBluetooth機器のコントロールができます。

※ 接続したBluetooth機器の音声出力レベルにも注意してください。出力レベルが小さい場合は正しく再生されないことがあります。

本機のリモコンで操作できるBluetooth機器の機能

- ▶▶ 再生／一時停止
- ◀▶ スキップー スキップ+

このコントロールする機能は、BluetoothのAVRCPプロファイル対応機器との接続時のみ機能します。

※ AVRCPプロファイル対応機種でも、このコントロールに対応しない機器や、対応コントロールであっても、コマンドを送信する方法によって正常に機能しない機器があります。

# USBメモリー・microSDカードのMP3を聴く

本機では、USBメモリー・microSDカードに記録されたMP3ファイルを再生することができます。

## 1. 本体上部のUSB端子にUSBメモリーを、またはmicroSDカードスロットにmicroSDカードを接続する

microSDカードは金属端子部が手前にくるように接続してください。

## 2. 本体またはリモコンのMODE入力切替ボタンでUSBモードまたはSDモードに切り替える

ディスプレイ部に「USB」または「SD」が表示されます。

## 3. 自動で再生が開始されるため、再生する曲を操作する

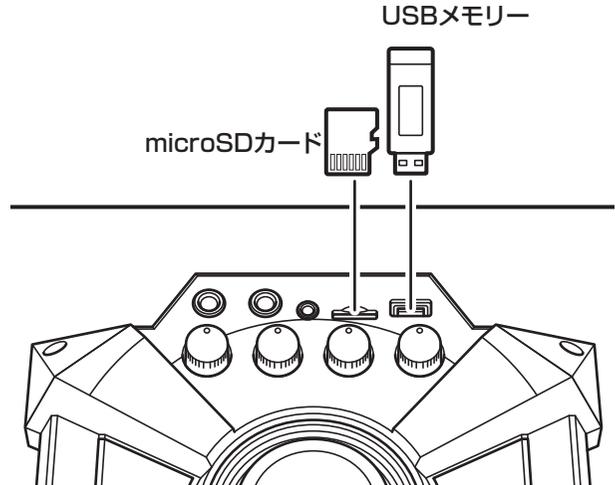
ディスプレイ部には曲番号と経過時間が表示されます。

※「USBメモリー・microSDカード・MP3再生について」(▶4ページ)

リモコンの再生／一時停止ボタンを押すと、一時停止、もう一度押すと再生される

前の曲または次の曲を聴くときは、リモコンのスキップ+／-ボタンを押す

リモコンの早送り／早戻しボタンで再生中の早送り／早戻しができます。



- USBメモリーまたはmicroSDカードに記録されたMP3ファイルは、曲を最後まで再生した後、先頭に戻ってから自動的に再生します（オートリピート機能）。
- USBメモリーとmicroSDカードが両方とも接続している場合、USBメモリーの曲を最後まで再生した後、microSDカードに移り再生します。

本機のUSB端子でスマートフォンや携帯電話の充電をすることができます

出力：DC 5V / 0.5A

充電をする場合は、充電される機器の電圧／電流に適しているかご確認の上、ご使用ください。

### 注意

- ファイルに適切な拡張子（MP3は[.mp3]）を付ける。  
拡張子が付いていないと、音楽ファイルを認識しません。また、実際のファイル形式と違う拡張子が付いていると、異音を発生する原因になります。
- USBメモリー・microSDカードの抜き差しをするときには、(金属にさわるなどで)体の静電気をなくしておく。  
空気が乾燥して静電気が起こりやすい環境のとき、USBメモリー・microSDカードを扱うと、データを破壊してしまうことがあります。

# 正しい使いかた（つづき）

## FMラジオを聴く

### FMラジオを聴く

本機はFMラジオ放送を聴くことができます。76～108MHzの受信ができ、FM補完放送（ワイドFM）に対応しています。受信状態が悪いときは、本体のFMアンテナの向きなどを調節してください。

#### 1. 本体またはリモコンの<sup>MODE</sup>入力切替ボタンでFMモードに切り替える

ディスプレイ部にFMの周波数（例「76.0MHz」）が表示されます。

#### 2. 《自動プリセット》本体またはリモコンの<sup>▶||</sup>再生／一時停止ボタンを長押しする

自動プリセットが開始します。

- 自動プリセットが終了すると、プリセット番号01の放送局が選局されます。
- 最大40局まで自動的にプリセットされます。

#### プリセットをするときの注意

- プリセットする前に、窓際などの電波状態の良いところへ移動させてよりよい受信状態で自動プリセットするようにしてください。
- プリセットするのは日曜深夜などは避けるようにします。放送されていない局があり、本来受信できるはずの局を受信できないことがあります。
- 自動プリセット中は、他の操作はできません。自動プリセット終了まで操作するのはお待ちください。
- 自動プリセット終了時に電波状態が悪く、1局もプリセットされなかったときは、自動的に消音機能がはたらきます。他の操作をすることで解除されます。

#### 3. プリセットされた局を聴くときは、本体またはリモコンの<sup>◀▶</sup>スキップ+／- ボタンを短く押すことでプリセット局を選局する

#### 4. 自動選局または手動選局で聴きたい放送局を受信する



注意

FMアンテナは、子供の手の届く範囲に貼り付けない。アンテナ線がからみついたりして、事故の原因になります。

#### 《自動選局》

本体、またはリモコンの<sup>◀▶</sup>スキップ-ボタンまたは<sup>▶▶</sup>スキップ+ ボタンを長押しする。

- 自動選局が始まったら指を離してください。
- 放送局を受信すると自動的に止まります。

#### 《手動選局》

リモコンの<sup>◀</sup>早戻しボタンまたは<sup>▶</sup>早送りボタンを短く押す。

- ボタンを押すたびに0.1MHzずつ周波数が変わります。

※電波が弱く、自動選局が自動で止まらないときは手動選局を行なってください。

## 外部入力を聴く

外部機器を外部入力端子に接続し、本機のスピーカーから音声を出すことができます。  
本機には、本体上面接続端子部に外部入力端子（LINE端子・φ3.5mm ステレオミニプラグ）があります。



機器の接続・取りはずしの際は、必ず電源を切る。

### 1. 外部入力端子に外部機器を接続する

- 接続コードは付属されていません。接続する外部機器に合った市販品をご使用ください。
- 本機の LINE 端子はφ3.5mmステレオミニプラグです。

### 2. 本体またはリモコンの 入力切替ボタンで「LINE」に切り替える

- ディスプレイ部には「LINE」と表示されます。

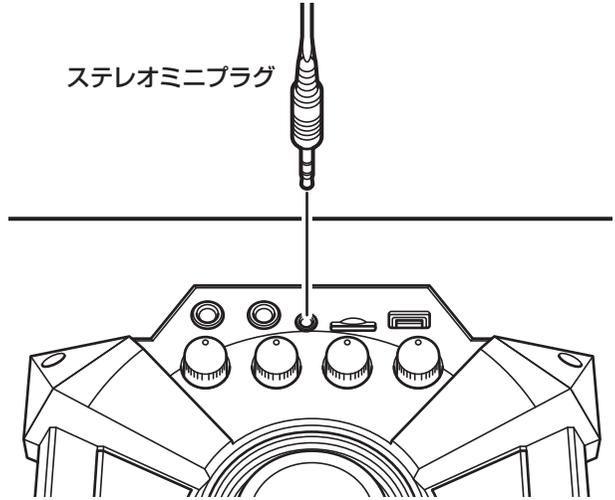
### 3. 外部機器を再生状態にする

### 4. 本体の音量つまみ、リモコンの音量ボタンで音量を調節する



- レコードプレーヤーを取り付けるときは、フォノイコライザー出力対応の機器を接続するか、フォノアンプを介して接続する。本機はフォノ出力に対応していません。
- 外部機器の音量を調節できる機種では、適切な音量に設定の上、使用する。他のモードの音とさほど変化のない音量に設定してください。大きく違った音量に設定されていると、モードを変更するたびに音量を設定しなおす必要があります。

ステレオミニプラグ



# 正しい使いかた (つづき)

## マイクミキシング機能を使う

本機では同時に2本のマイクを使うことができます。  
マイク入力端子：標準モノラルプラグ (φ6.3)  
※ミニプラグ (φ3.5) のマイクを使用する場合は、市販の変換プラグ (ミニプラグ→標準プラグ) を購入してください  
※プラグインパワーマイクとコンデンサーマイクは使用できません。  
ステレオマイクには対応していません。

### 1. バックに流す音の音量を調節する

本体の音量つまみまたはリモコンの④音量ボタンで、マイクの声が入ることを考えて、少し低めに設定してください。

### 2. マイクの音の音量を調節する

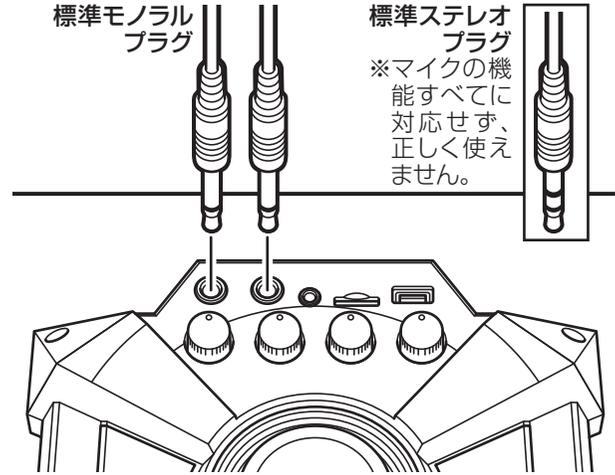
マイク音量つまみを回して、音のバランスを調節してください。

### 3. 全体の音量を調節する

## マイクミキシングについて

各モードで再生されている音にマイクの音を重ねる機能です。

各モードの再生音とマイク音量の調節は本体操作パネルにあるMIC VOL つまみで調節してください。



## 電子エコー機能

本体操作パネルのECHOつまみでお好みの強さに調節することができます。

## 拡声器として使用する

外部入力モード(LINE)に設定し、外部機器を接続しない状態にすると、拡声器としても使用できます。



**注意**

### ハウリングに注意する。

マイクミキシング中、マイクをスピーカーに近づけないように注意してください。突然大きな音が出る場合があります。

# お手入れのしかた



**警告**

お手入れの際は、必ず AC アダプターをコンセントから抜く。  
感電・火災・けがの原因になります。



**注意**

- ベンジン・シンナーでは拭かない。  
変色や変形の原因になります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従って使用する。  
変色・キズの原因になります。
- 本体に水をかけたりしない  
感電・故障の原因になります。

## 本体のお手入れ

本体の汚れは、ぬるま湯か台所用洗剤に浸してかたくしぼった柔らかい布で拭き取り、さらに乾いた布でやさしくから拭きをしてください (樹脂部

分は強くこすらないでください。キズが付く原因となる場合があります)。

※本機底面のスピーカーサラネットは、取りはずすことができません。

# 修理・サービスを依頼する前に



**警告** 修理技術者以外の方は分解したり修理をしない。

「故障かな？」と思ったときには次の点をお調べください。

症状	主な原因	処置
<b>共通部</b>		
電源が入らない	・ AC アダプターがコンセントからはずれている	AC アダプターをコンセントにきちんと接続する
音が出ない	・ 消音状態になっている	リモコンの(消音)消音ボタンで消音を解除する
	・ 入力切替が目的のモードに設定されていない	本体またはリモコンの(入力切替)入力切替ボタンで目的のモードに切り替える
雑音が入る	・ 近くで電波など発する機器（携帯電話など）を使用している	電波など発する機器から離す、もしくは電波など発する機器を離す
正常な動作をしない		一度 AC アダプターを抜いて接続しなおす
リモコンで操作できない	・ 電池が消耗している	新しい電池に交換する
	・ 操作する距離が遠い	リモコン使用可能範囲はリモコン受光部から約 6m です

## Bluetooth 部

音が出ない	・ Bluetooth 機器との距離が遠い	Bluetooth機器と本機を10m以内に近づける
	・ 無線 LAN や電子レンジ、無線機器などの影響を受けている	影響しそうな機器の使用をやめてみる
	・ 正しくペアリングされていない	もう一度ペアリングしてみる
	・ SCMS-T の送信	本機は SCMS-T に対応していません
映像機器とつなぐと、映像より音が遅れる	・ Bluetooth の通信遅延	状態によってBluetoothでは若干遅れることがあり、映像と音声を一致させるには外部入力端子 (LINE) に音声を接続する
ペアリングできない	・ Bluetooth機器との距離が遠い	Bluetooth機器と本機を1m以内に近づけてペアリングする
	・ Bluetooth機器側の問題	電源など十分に確保してから試してみる
	・ 先に別のBluetooth機器が接続されている	別のBluetooth機器が接続されていないか確認する

## USBメモリー・microSDカード部

USBメモリー・microSDカードを認識しない	・ FAT32以外のファイルシステムでフォーマットされている	FAT32でフォーマットしなおして書き込む
	・ ハブなど介して接続している	本体に直接接続する
MP3を読み取らない	・ 読み取れないフォーマットを使用している	FAT32でフォーマットしなおして書き込む
	・ ファイルに拡張子「.mp3」が付いていない	ファイルに拡張子「.mp3」を付ける

## 修理・サービスを依頼する前に（つづき）

症状	主な原因	処置
<b>FMラジオ部</b>		
雑音が入る	・ テレビなどが近くにある	テレビなどから離す
	・ 電波状態が悪い	窓際などで試してみる
<b>外部入力端子部 (LINE)</b>		
音が小さい	・ フォノイコライザーの付いていないレコードプレーヤーをつなげている	フォノアンプを介して接続する
	・ 接続している機器の音量が小さい	接続している機器の音量を上げる
<b>マイクミキシング部</b>		
マイクからの音が出ない	・ プラグインパワー方式やコンデンサータイプのマイクを使用している	ダイナミックマイクを使用する
	・ マイク音量が調節されていない	マイク音量を調節する

# 主な仕様

## 仕 様

<b>アンプ部</b>	
定格出力(RMS・THD10%)	15W+15W+30W

<b>USB部</b>	
バージョン (端子)	USB2.0 マスストレージクラス (タイプA)
使用可能容量	32GB以下
ファイルシステム	FAT32
再生可能フォーマット	MP3 (拡張子.mp3、.MP3) 最大読み込みファイル数 999 最大読み込みフォルダー数 999
電源出力	DC5V/0.5A

<b>microSD部</b>	
使用可能容量	SDHC 32GB 以下
ファイルシステム	FAT32
再生可能フォーマット	MP3 (拡張子.mp3、.MP3) 最大読み込みファイル数 999 最大読み込みフォルダー数 999

<b>Bluetooth部</b>	
バージョン	Ver.5.0
プロファイル	A2DP、AVRCP
コーデック	SBC
SCMS-T	非対応

<b>チューナー(FMラジオ) 部</b>	
形式	PLL オートスキャン 40 局プリセット
受信バンド	FM
FM 受信周波数	76 ~ 108MHz (ステレオ放送対応)

<b>スピーカー部</b>	
タイプ	2.1chフルレンジバスレフタイプ
ドライバー	サテライトドライバー 10.5cm フルレンジ ウーファー 13cm
定格入力	サテライト15W ウーファー35W

<b>基本仕様</b>	
入力端子	1系統(3.5mm ステレオミニプラグ)
外形寸法 (突起物除く)	(約) W385×D310×H240mm
質量	(約) 5.0kg (本体のみ)
電源	AC アダプター AC100V 50/60Hz 出力 DC15V 4.0A
消費電力	動作時55W (スタンバイ時0.2W)

- 仕様などは改善・改良のため、予告なく変更することがあります。
- この製品を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。  
(This unit can not be used in foreign countries as designed for Japan only.)

## 長年ご使用のスピーカーシステムはよく点検を

### このような症状はありませんか？

- 電源コードや AC アダプターが異常に熱い。
- コードを動かすと、通電したり、しなかったりする。
- こげ臭い匂いがする。
- その他の異常・故障がある。

このような症状のときは、事故防止のため、すぐに電源を切り、コンセントから AC アダプターを抜いて、必ず販売店またはドウシヤカカスタマーセンターに点検をご相談ください。

# アフターサービスについて

## ●製品の保証について

- この製品には保証書がついています。  
保証書は販売店にて所定事項を記入してお渡しいたしますので、内容をよくお読みのうえ大切に保管してください。
- 保証期間はお買い上げの日から1年間です。  
保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
- 保証期間後の修理は販売店またはドウシヤカスタマーセンターにご相談ください。  
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

## ●修理を依頼されるときは



- 故障のときは、ただちに使用をやめてコンセントからACアダプターを抜き、お買い上げの販売店にこの製品をお持込みのうえ修理をお申しつけください。
- ご自分での修理はしないでください。たいへん危険です。

## ●補修用性能部品について

- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- 本機の補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後5年間です。

アフターサービスについてわからないことは…

お買い上げの販売店、またはドウシヤカスタマーセンターにお問い合わせください。

## ORION 保証書

Bluetooth®機能搭載 パーティースピーカー **持込修理**  
SKS-30BT

保証期間	お買い上げ日 年 月 日 <b>お買い上げの日から本体1年間</b>
お客様	ご住所 □□□□-□□□□ 電話
	お名前 ふりがな

様

本書は、下記の保証規定により無料修理を行なうことをお約束するものです。お買い上げの日から1年以内に万一故障が発生した場合は本書をご提示のうえお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

保証書に所定事項の記入または販売店印がない場合は必ず販売店発行の領収書または、その他の購入年月日、店名などを証明するものを合わせてご提示ください。  
お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

お買い上げ店	住所・店名
	電話

印

販売店様へお願い この保証書は、販売店様が所定事項を記入して効力を発するものですから、必ずご記入ください。

### 保証規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意にしたがって正常な使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。
- 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には、商品と本書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店にご依頼ください。
- ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
- 贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、ドウシヤカスタマーセンターにお問い合わせください。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。また、修理をお断りする場合があります。
  - (イ) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷、当社によらない分解、改造（ソフトウェア含む）、修理などが行なわれた痕跡がある場合
  - (ロ) お買い上げ後の輸送、落下による故障および損傷
  - (ハ) 火災、塩害、ガス害、地震、風水害、落雷、異常電圧、およびその他の天災地変による故障および損傷
  - (ニ) 本書の提示がない場合
  - (ホ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、または字句を書きかえられた場合

- 故障の原因が本製品以外（電源、他の機器など）にあつてそれを点検、修理した場合
- 一般家庭用以外（例えば、業務用、船舶や海上使用など）に使用された場合の故障および損傷
- 腐食による故障および損傷
- 樹脂加工およびメッキの摩耗や打痕、プラスチック部の損傷
- 本書は日本国内においてのみ有効です。  
This warranty is valid only in Japan.
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

※ この保証書は、本書に明記した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明な場合は、お買い上げの販売店またはドウシヤカスタマーセンターにお問い合わせください。  
※ お買い上げの販売店またはドウシヤカスタマーセンターにご持参いただくに際しての諸費用は、お客様にご負担願います。またお買い上げの販売店と当社間の運賃諸掛りにつきましては、輸送方法によって、一部ご負担いただく場合があります。

## 株式会社ドウシヤ

〈東京本社〉〒108-8573 東京都港区高輪2-21-46

〈大阪本社〉〒542-8525 大阪府大阪市中央区東心斎橋1-5-5

■故障・修理についてのご相談に関しては…

⇒ドウシヤ カスタマーセンター

【受付時間】9: 00～ 17: 00(土日祝以外の月～金曜日)

〒915-0801 福井県越前市家久町41-1

**TEL 0778 (24) 2779 FAX 0778 (24) 2799**

※ 製品名、型番をご確認のうえ、お電話をいただきますようお願い致します。

※ FAXもしくは、お電話をいただいた際にお話いただく情報は、お客様へのアフターサービスにおいて利用させていただきますので、ご了承ください。

輸入発売元 株式会社ドウシヤ

9B21A